



# 港南小学校 学校だより

## 1月号

二十四節気・七十二候

### <1月の二十四節気>

- ・1月6日 小寒  
寒気稍強し
- ・1月20日 大寒  
厳寒を感ず

### <1月の七十二候>

- ・芹乃榮  
せりすなわちさかう  
→芹がよく生育する
- ・水泉動  
しみずあたたかをふくむ  
→地中で凍った泉が動き始める
- ・杯始鳴  
きじはじめてなく  
→雄の雉が鳴き始める
- ・欵冬華  
ふきはなさく  
→蔞の臺が蕾を出す
- ・水沢腹堅  
きわみずこおりつめる  
→沢に氷が厚く張りつめる
- ・鶏始乳  
にわとりはじめてとやにつく  
→鶏が卵を産み始める

### 今月の生活目標

「心を込めてあいさつをしましょう」

明けましておめでとうございます。

年末年始には、子供たちは家庭での整理整頓や掃除に取り組みましたでしょうか。学校便り五月号では、テーマパークの清掃員を紹介しました。ある大企業の社長は、毎日トイレ清掃をと言います。陸上日本一の中学校の部員は毎日、清掃活動をします。港南の子供たちも「身の回りのものを自分で片付ける」という当たり前のことを当たり前のようにできる人に育ってほしいと願っています。そして、子供もまた家族の一員です。所属意識を高めるためにも、家庭での清掃の役割を与え、継続的に取り組ませ、褒めてあげてください。

昨年末のクリーン作戦では、子供たちの参加人数が四三名と少し寂しい参加率でした。地域の一員として多くの子供が参加し、自治意識が高まることを期待しています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

生活指導主幹 小清水孝



## 笑 顔 感 染

校長 船木 亮作

あけまして おめでとう ございます。平成三十一年がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様には穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。「一年の計は元旦にあり」と言われるように、保護者や地域の皆様とともに港南小学校の教育活動をより充実したものにしていきたいと考えます。今年、本校創立五十五周年を迎える年でもあります。また、新しい元号へと変わる年でもあります。その記念する年が充実したものになるよう教職員一同、子供たちの成長のために歩みを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、本日の始業式に次のような話をしました。「今年の一年を笑顔あふれる一年にしましょう。私は、皆さんから笑顔にしてもらったことがこれまでに数多くありました。それは、皆さんの一生懸命活動している姿や優しさに触れた時です。私も皆さんのことを笑顔にできればと思います。そのために、できるだけ笑顔でいたいと思います。笑顔は、心を温かくし、周りを和やかにしてくれます。みんなで笑顔あふれる港南小学校にしていきましょう」

子供たちも今年より楽しく、さらによい年にしたいと願っていると思います。しかし、毎日、楽しいことばかりではありません。ですから、次のようなことも話しました。それは、「苦しい時ほど、笑え」ということです。

時々私も実行してみています。少しだけ前向きになる気がします。おまじないみたいなものかと思いましたが、科学的な根拠があるようです。池谷裕二著「脳には妙なクセがある」でこんな実験が紹介されていました。箸を横にして歯で噛み、笑顔に近い表情を作る。これは、CAが笑顔を作るための研修でもよく用いられている手法です。すると脳内でドーパミン系の神経活動が変化するそうです。ドーパミンは皆さんもご存じのように快樂に関係しています。人は楽しいから笑いますが、笑顔を作るから楽しくなるという逆の因果関係もあるそうです。同じように箸を噛みながら漫画を読むと、より面白く感じるとの実験結果もあるようです。

一時期スポーツの世界でも笑顔の大切さについて叫ばれたことがあります。そのせいか、以前は限界に挑戦して苦しそうな表情を画面から見るのが多かった気がしますが、最近では笑顔を見せる選手が年々増えている気がします。マラソンでは、かつては「Qちゃんスマイル」の言葉もありました。今は〇〇スマイルといわなくてよいほど、どの種目でも笑顔が当たり前のようになってきました。池谷さんの本によると、笑顔は周りの人に「感染」するそうです。そう考えると、教師、保護者、地域の皆様が笑顔でいることが子供たちへ「感染」していくことが考えられます。

毎日、苦しいことや嫌なことがあるかもしれませんが、「笑顔感染」が広がっていくことを期待します。



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28  
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

## 2月の主な行事予定

- 1日 (金) ふれあい月間始
- 4日 (月) セーフティタイム、委員会活動
- 6日 (水) 基礎なし【13:10頃下校】
- 8日 (金) 基礎なし【13:10頃下校】
- 11日 (月) 建国記念の日
- 13日 (水) 学校保健委員会 13:45～  
【6年生 14:40頃下校】
- 18日 (月) クラブ活動
- 19日 (火) 新1年生保護者会 (受付13:30)  
【1年:4時間授業、その他:通常通り】
- 21日 (木) 保護者会 (6年)
- 23日 (土) 土曜授業日  
卒業・進級を祝う会 (わかば) 10:15
- 26日 (火) 6年生を送る会、兄弟班お別れ給食
- 28日 (水) 基礎なし【13:10頃下校】

## 副校長より

新しい年を迎えました。今年度子供たちが登校するのは五十余日と、決して長くはありません。しかし、子供たちが成長するには十分な時間であるとも言えます。特に、四月からの新しい学年を見据えて今までの成果を振り返りつつ、目標を設定して取り組んでいけば、子供たちはさらに実りある経験ができ、成長していただけることでしょう。

三学期には、運動会やオータムフェスタといった大きな行事はありませんが、各学年・学級共に多様な学習活動を予定しています。準備等で色々とご協力を賜ることがあるかと



(副校長 原島 謙一 吉岡 慎一)

存じますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。しばらく寒い日が続きますが、春はもうそこまでやってきているとも言えます。私共は、改めて健康や安全に留意し、教育活動の充実に努めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 1月の行事予定

8日	火	始業式、4時間授業 (土曜時程) リズムダンスクラブ発表会
9日	水	給食始、書き初め会 1・2校時 (1・2年)【教室】(3年)【体育館】 3・4校時 (5年)【体育館】
10日	木	音楽朝会、発育測定始、書き初め会 1・2校時 (わかば・4年)【体育館】 3・4校時 (わかば・6年)【体育館】
11日	金	
12日	土	
13日	日	
14日	月	成人の日
15日	火	全校朝会 セーフティタイム、委員会活動
16日	水	基礎なし・下校時刻変更【13:10下校】
17日	木	児童集会・体育朝会
18日	金	学校公開①、書き初め展始、 ふれあいコンサート (2年) 漢字検定6校時 (希望者)
19日	土	学校公開① 道徳授業地区公開講座4校時【体育館】
20日	日	
21日	月	全校朝会、クラブ活動
22日	火	げんきアップタイム
23日	水	
24日	木	ユニセフ集会
25日	金	書き初め展終、ユニセフ週間始 ふれあいコンサート (2年)
26日	土	<b>土曜授業日</b> フレンドリータイム1校時 ふれあいクリーン作戦 (4年) 10:00～ 英語検定 (希望者)
27日	日	
28日	月	全校朝会
29日	火	げんきアップタイム、キッズスポーツアカデミー
30日	水	
31日	木	児童集会・体育朝会 保護者会・お茶会 (わかば)

この他に、避難訓練 (予告なし) があります。

## 今月の生活目標

心を込めてあいさつをしましょう

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数 (人)	24	221	232	212	197	190	191	1267

# 表彰

平成30年度  
港区長杯争奪港区少年軟式野球春季大会  
学童低学年の部  
第3位 港南メッツ

コナミスポーツクラブ  
上級対抗水泳競技大会2018  
東京大会

小学2年生女子優秀選手賞 堤 美翔 (2年)

第6回 全国小・中学生リズムダンス  
ふれあいコンクール  
小学生部門 規定曲部門  
文部科学大臣賞 CHERRIES

コナミスポーツクラブ  
ジュニアテニス選手権  
関東大会 レッドの部  
準優勝 白川 陽暉 (1年)

## 一年生より

### 給食について

一年生は、一、二学期に比べて給食を食べる量が増えてきました。港南小学校では瀬戸物食器を使用しています。そのため、子供たちにとっては配膳するのも一苦労です。そんな中でも給食の時間になると素早く白衣に着替えて準備をしたり、お皿に盛る量を考えながら配膳したりと子供同士で協力して取り組んでいます。当初に比べ、給食を食べ始めるまでの時間が早くなったことに成長を感じています。

また、もぐもぐチャレンジデールを通して、初めて食べる物や苦手な物に挑戦する姿も多く見られるようになり「苦手なおかずも頑張つて食べました」と嬉しそうにしています。

しかし、給食を時間内に食べ切ることが、まだまだ難しい子もいます。三学期は、二年生に向けて時間内の完食を目指していきます。

(二組担任)

牧野 絢



## 五年生より

### 生演奏の迫力に

十二月十日、五年生はサントリールホールで開催された音楽鑑賞教室に行ってきました。オーケストラの生演奏を鑑賞することはもとより、公共の施設で音楽を鑑賞する際のマナーを学びました。

子供たちは、オーケストラを構成する様々な楽器の特徴や音色をパート毎に聞き比べ、それらが一つになった時の迫力を肌で感じる事ができました。中でも、サントリールホールに設置されたパイプオルガンには五千八百九十八本ものパイプがあり、それぞれが一つの音の高さ、一つの音色をもっていること、鍵盤が押されると裏側にある風箱から特定のパイプに空気が送り込まれて音がすることなど、オルガンの仕組みについて熱心に聞いていました。



ベートーベンの「運命」から、エルガーの「威風堂々第一番」まで、オーケストラの奏でる荘厳な楽曲に心酔ししれる素敵な時間を過ごしました。

(二組担任)

戸室 勇児



(七組担任)

大川 信子

### 港南幼稚園との交流

十二月十三日、五年生は港南幼稚園と交流会を行いました。幼稚園児と一緒にゲームをして楽しんだり、絵本を読み聞かせたりしながら交流を深めました。

絵本の読み聞かせでは、班ごとに二、三冊選び、幼稚園児が楽しめるようにするためにどのような読み方がよいか考え、事前に練習をしました。当日は絵本を膝の上や肩の横で持つことで見やすいようしたり、ゆっくりと気持ちを入れて読んでいたり、工夫している姿が見られました。また、緊張している幼稚園児に優しく声を掛ける様子から上級生らしい姿も見ることができました。

一月には、学校案内をします。来年度の一年生が安心して学校生活を送ることができるよう、しっかりと準備していきます。

(三組担任)

栗田 純



# 室内球技クラブ

室内球技クラブは、ボールを使って体育館でできる遊びに取り組んでいます。今年度はバスケットボールやドッジボールを中心に活動しています。

室内球技クラブのよいところは、異学年の児童とボールを使って力一杯遊べることです。児童数の多い港南小において、この人数でボールを思う

存分使えるのは貴重な機会です。また、児童主体のクラブだからこそ、六年生が下級生をまとめる苦勞を学んだり、下級生も楽しめるルールを考えたりする、よい学びの機会だと思えます。この経験を生涯に渡ってスポーツに親しんでいくことにつなげていきたいです。

(室内球技クラブ担当)  
世取山 拓平

# 祝☆優勝 リズムダンス

五・六年生合同チーム「CHERRIES」を結成し、第六回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールに出場しました。この大会は、マイナビBITZ赤坂で年末に開催され、港南小学校からは四年連続で出場しています。

「CHERRIES」は夏休みから練習を始めました。互いに動きを見合い、よい点だけでなく課題点

も見付け、伝え合ってきました。動きを揃えること、キレのある動きにすること、笑顔で踊ること、元気よくかけ声を出すことを心掛けて練習してきました。

当日は、全国大会という大きな舞台で躍動感のある踊りを披露することができました。児童の喜びの涙が印象的でした。

(担当 照沼純)

# 委員会 紹介

## 運動委員会

運動委員会では、体育の授業がスムーズかつ安全に行えるようになることを目的として活動しています。

主に、グラウンドや体育館の体育倉庫の整頓、ボールの空気入れを行っています。朝の時間や休み時間、放課後の時間の中から自分たちで時間を決めて、一人一人が責任をもって活動しています。

また、毎月行われる体育朝会の準備も行っています。朝早く来て、カラーコーンや各学級のクラス表示などを進んで準備しています。

これからも体育の授業が円滑に行えるように、活動していきます。

(運動委員会担当)

山崎 愛未



## 集会委員会

集会委員会は毎月の児童集会を低学年と高学年に分けて活動を行っています。集会委員の児童は、「みんなに楽しんでもらう」というめあてのもと、自分たちでどんな集会にするのかの企画を立てたり、集会をするために必要な役割を考えたりと、児童主体で活動しています。また、担当する集会に向けて朝早く来て練習するなど、意欲的に取り組んでいます。

(集会委員会担当)

中原 真



# 国語部より

今年度も一月九日、十日に校内書き初め会を行いました。

書き初めの起源は諸説ありますが、平安時代の宮中行事であり、一般に広まっていたのは江戸時代といわれています。長い間大切にされ、続いてきた行事を子供たちにも大切にしてほしいと思います。

書き初めでは、普段の学習ではなかなかできない、姿勢、筆や鉛筆の持ち方を

しっかりと意識できるよい機会です。一文字一文字を丁寧に、正しい字形で書くことができますように二学期にも練習を行いました。書き初め会では練習の成果を発揮してください。

(国語部)  
橘 由紀



# 音楽専科より

十一月二十六日に「芸術鑑賞教室」が開かれ、『和楽器オーケストラ あいおい』の皆様の演奏を聴きました。また、十二月十日には、五年生を対象とした「音楽鑑賞教室」が行われ、サントリーホールでオーケストラの演奏を鑑賞しました。目の前で演奏される迫力のある音楽、初めて耳にする楽器の音色、会場いっぱい響く音楽に包まれ、児童は真剣に演奏に聴

き入っていました。「生」の音楽を聴き、「美しいな」「素晴らしいな」などと心を感動させたいことは、「豊かな心を育てる」ことにもつながります。「生」の音楽で得た感動を、本校の音楽教育にも生かしていきます。

(音楽専科)  
柿島 沙織

